

～児童書～



『ねこのえきちょうさん たま』
作・絵：羽尻 利門
発行：金の星社

～一般書～



『余白の迷路』
著者：赤川 次郎
発行：KADOKAWA

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 9時～17時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
2月1日～2月10日（須木・野尻は12日まで）は
特別整理期間のため休館します。

4年ぶりに「お琴演奏」と 「お抹茶体験」が復活します！ ひなまつり お楽しみ会



季節のおはなし、お琴演奏、お抹茶体験などで
和の行事を楽しみましょう！

- ◆日時 3月3日（日曜）13時30分～15時
- ◆場所 市立図書館本館2階大会議室
- ◆定員 60人
- ◆参加費 無料

※必ず事前に図書館窓口か電話で申し込みください。
(2月1日～2月10日は図書館特別整理期間のため申込受付を中止します。)

文化の足跡

今年辰年！～龍がいる神社～

～霧島岑神社～



写真①霧島岑神社の雲龍巻柱の全景、②口を閉じた吡形（ひしぎょう）の龍、③口を開けた阿形（あぎょう）の龍

新年を迎え、早くもひと月。今回は辰年にちなんで龍を祀る神社を紹介します。細野地区の霧島岑神社には本殿にある向拝柱に龍と瑞雲を絡ませた柱があり、雲龍巻柱と呼ばれています。社殿を支える柱に龍の彫刻を施し、一対で設置され、神社を守護するために作られたと考えられています。この雲龍巻柱は、文久2年（1862年）に社殿とともに造られたものと考えられています。その様相は向拝柱下から30センチ程を八角柱にし、そこから上の柱に巻き付く龍の体や瑞雲は高浮彫りの技法が用いられ、向かって右側は口を開いた阿形、左側は口を閉

じた吡形となっています。他地域の雲龍巻柱には色彩が施されているものが多いですが、本神社は白木造りであり、そのことが全体を奥ゆかしく端麗な印象を与えています。雲龍巻柱は鹿児島・宮崎県に多いと言われ、高原町の霧島東神社、えびの市の白鳥神社、都城市の東霧島神社や兼喜神社、霧島市の霧島神宮や鹿児島神宮にもあります。普段は一般参拝者が立ち入ることのできない本殿前にありますので、各神社に訪れた際は奥の方をよく見るか、本殿横に周るとその姿を見ることができると場合があります。みなさまの今年一年が良い年になりますように。